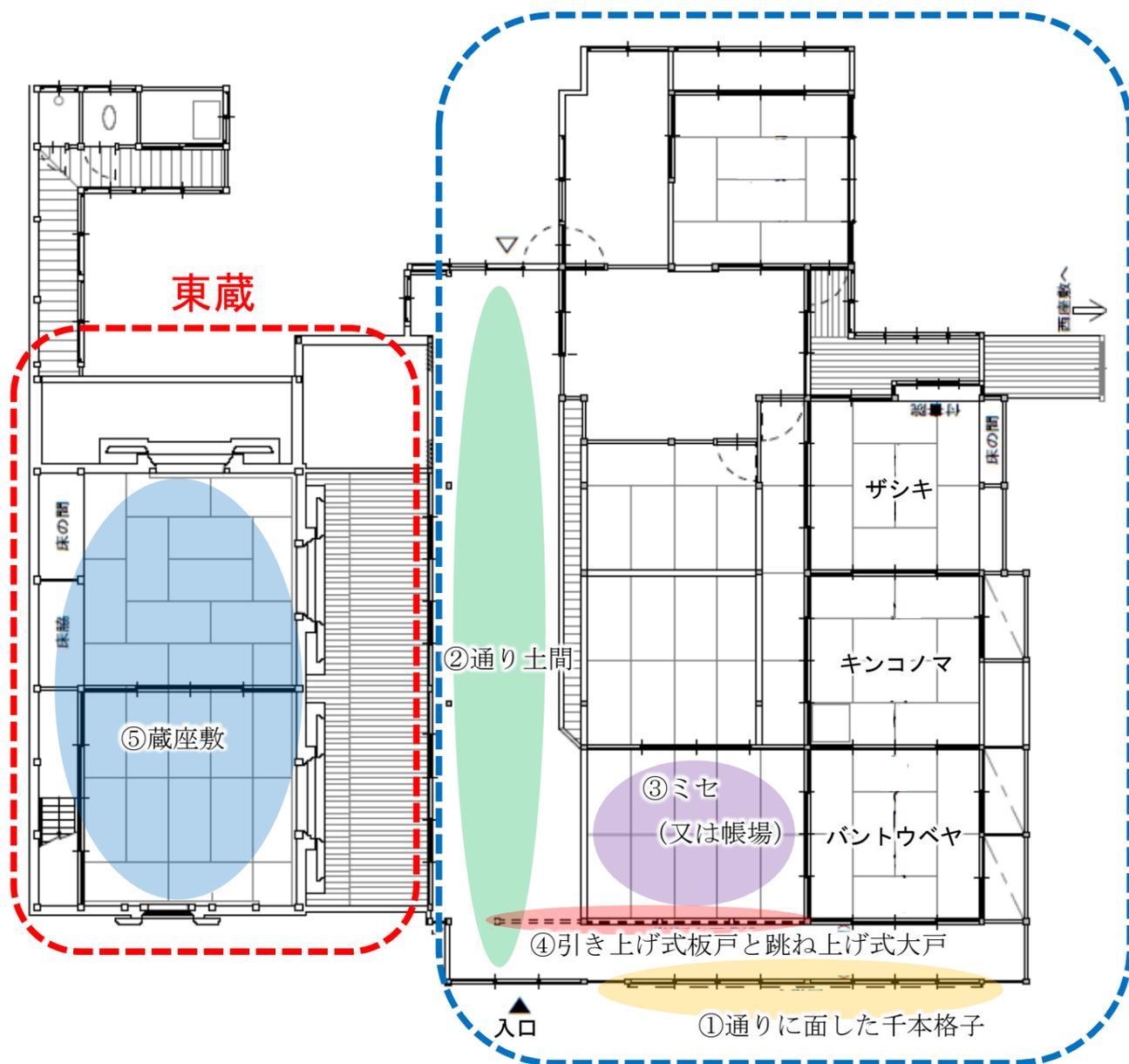


建物名称／建築年：東店舗兼主屋／江戸末期
 東蔵／明治中期
 西店舗／江戸末期
 西座敷／江戸末期
 西蔵／明治13年

建物の特徴
 ①通りに面した千本格子
 ②通り土間
 ③ミセ（又は帳場）
 ④引き上げ式板戸と跳ね上げ式大戸
 ⑤蔵座敷形式の東蔵

文化財名称：登録有形文化財（平成30年5月10日登録）

東店舗兼主屋



①通りに面した千本格子
 →外からの視線を適度に遮り、室内への採光も確保。外観を特徴づける要素となっている。



②通り土間
 →玄関から勝手口へ抜ける通路。道に面して建て並ぶ町屋建築の特徴のひとつ。



③ミセ（又は帳場）
 →商いの場として使用。



④引き上げ式板戸と跳ね上げ式大戸
 →板戸と大戸を引き込むスペースを省いた効率的な建具の格納



⑤蔵座敷形式の東蔵
 →1階を接客空間の座敷とし、2階を物品の収納庫としている。勝沼宿には数件現存する、大規模商家の特徴のひとつ。